RSNA Complete Radiology Collection on Ovid®

研究、教育、技術革新、そして臨床卓越性を支える、信頼できる画像診断エビデンス



画像診断が、医療を変えています。

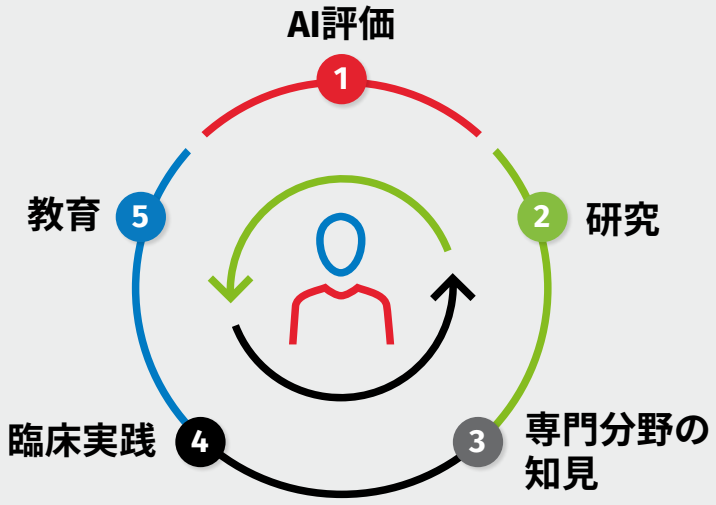
AIや精密医療から、より早期の診断、より個別化された治療方針まで、放射線医学は患者診療と科学的発見の未来を形づくっています。

撮像技術が進歩し、情報量が増え続けるなかで、信頼できる査読付きエビデンスへのアクセスがこれまでになく重要です。

RSNA Complete Radiology Collection on Ovidは、北米放射線学会（RSNA：Radiological Society of North America）の主要5誌をひとつにまとめたコレクションです。放射線医学のエコシステム全体にわたる確かな画像診断の知見を、貴機関全体でご利用いただけます。

RSNA on Ovidは、発見、技術革新、教育、そしてより確かな意思決定を支える、信頼できるエビデンス基盤です。

現代の放射線医学は、つながった5つの領域で成り立つ



5つの領域すべてを、
ひとつの購読でまとめて利用できるのは、
RSNA Complete Collection on Ovidだけです

アクセス方法の変更と、価値を広げる機会

現在RSNAのジャーナルを1誌以上ご購読の場合、今後のアクセスはRSNA Complete Radiology Collection on Ovidを通じてご提供します。

1誌ずつ個別にアクセスする形ではなく、貴機関のチームは放射線医学のエコシステム全体がつながった状態でご利用いただけます。研究、教育、臨床のいずれの意思決定でも、重要なエビデンスを見落とすリスクを抑えられます。

放射線医学のあらゆる分野を網羅する、世界屈指のRSNAジャーナル

2025 Journal Citation Reports™ ハイライト

- RSNA5誌すべてでインパクトファクターが上昇
- 『Radiology: Artificial Intelligence』が放射線医学分野で第1位
- 同誌は人工知能分野でも世界第5位
- 『Radiology』のインパクトファクターが15.2から17.6に上昇

1 AI評価

Radiology: Artificial Intelligence
責任ある技術革新を支える

AIは画像診断を変えつつあり、新たな可能性と新たな課題を同時に生んでいます。

AI技術がどのように開発され、検証され、実際に使われているかを理解するには、信頼できるエビデンスが欠かせません。

2025年インパクトファクター：**20.1**
放射線医学・核医学・医用画像分野で**第1位（全217誌中）**
コンピュータサイエンス・人工知能分野で**第5位（全210誌中）**

支える領域

- 機械学習研究
- AI評価
- 臨床導入
- ワークフローの革新
- 新技術の責任ある導入



2 研究

Radiology®
画像診断学の発展に貢献

RSNAの旗艦誌であり、医用画像分野で最も影響力のある刊行物のひとつです。

画像技術の革新、診断の進歩、臨床研究、新技術、そしてエビデンスに基づいた放射線診療にわたる主要な研究成果にアクセスできます。

2025年インパクトファクター：**17.6**
放射線医学・核医学・医用画像分野で**第3位（全217誌中）**

支える領域

- 研究の卓越性
- 学術的インパクト
- 臨床の進歩
- 次世代の技術革新



3 専門分野の知見

Radiology:
Cardiothoracic Imaging

心臓・肺の画像診断に特化したエビデンス

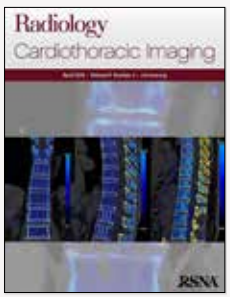
循環器・胸部画像診断の進歩を、臨床と研究の両面から支える専門研究を掲載しています。

医療のなかでも特に複雑な領域の最新動向を、臨床医と研究者が追い続けられるようにします。

2025年インパクトファクター：**4.5**
放射線医学・核医学・医用画像分野で**第39位（全217誌中）**

重点的に扱う研究領域

- 心臓・肺の画像診断
- 高度な撮像法
- 臨床応用
- 専門分野の技術革新



*2024 Journal Impact Factors, Journal Citation Reports™, Web of Science Group
*更新が終了したフロントファイルは対象外

現代の放射線医学は、1誌ではもう追いきれない

4 臨床実践

Radiology: Imaging Cancer

画像診断は、がんの発見、病期分類、治療経過のモニタリング、効果判定において欠かせない役割を担っています。

画像技術の革新と、多職種によるがん診療をつなぐ研究を掲載しています。

2025年インパクトファクター：**7.2**
放射線医学・核医学・医用画像分野で**第16位（全217誌中）**
腫瘍学分野で**第53位（全333誌中）**

支える領域

- 早期発見
- 診断と病期分類
- 治療経過のモニタリング
- 精密医療
- がん研究



5 教育

RadioGraphics®
知識を専門性へと高める

放射線医学の技術革新は、知見が現場に届いたときに成果になります。

『RadioGraphics』は、画像診断の各専門分野における学習と専門能力開発を支える、信頼できる教育コンテンツを提供しています。

教育プログラムを強化し、将来を担う専門人材の育成につなげます。

2025年インパクトファクター：**6.2**
放射線医学・核医学・医用画像分野で**第19位（全217誌中）**

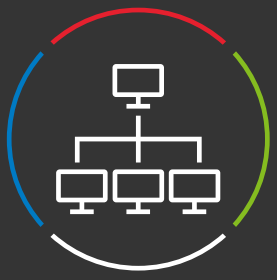
支える領域

- 放射線医学教育
- 専攻医と教員の育成
- 継続的な専門教育
- 画像診断知識の実践的活用



RSNA Complete Collectionが必要な理由

- 現代の放射線医学は、従来の研究誌の枠を超えて広がっています。
- AIは画像診断ワークフローの中心になりつつあります。
- がんの画像診断は重要性を増す一方です。
- サブスペシャリティの専門知識が、ますます重要になっています。
- 次世代の放射線科医の育成には、教育が不可欠です。



RSNAポートフォリオ全体がつなぐもの

AI評価 → 研究 → 専門分野の知見 → 臨床実践 → 教育

断片的な知識ではなく、画像診断の進歩を全体として見渡せるようになります。

Wolters Kluwer

ovid.com

貴機関全体に、放射線医学の全領域を届ける



医療機関・医学図書館

研究、AI、サブスペシャリティの画像診断、患者診療にわたる臨床意思決定を支えます。

RSNA on Ovidが役立つ場面

- 専門医が放射線医学の最新の進歩を把握できるよう支援
- エビデンスに基づいた診療を支援
- 診療科をまたいだ連携を実現
- 専門能力開発を強化
- 図書館資源が臨床知識に与える効果を可視化



学術機関

教育、研究、教員育成、そしてAIを軸とした技術革新を後押しします。

RSNA on Ovidが役立つ場面

- 教育と学習を推進
- 教員と学生の研究を支援
- 医学、工学、AIを横断する研究を実現
- 研究成果の影響力と技術革新を強化



研究機関、製薬企業、ヘルスケアイノベーション企業

信頼できるエビデンスで技術を評価し、画像技術の革新を加速します。

RSNA on Ovidが役立つ場面

- 画像診断の新しい動向を把握
- AIと技術革新を支援
- エビデンスに基づいた開発に活用
- 科学的発見と臨床応用を橋渡し

5誌が実務でどう連携するか

例：
複雑な症例に対応する場合

肺がん患者を担当する放射線科医の場合

1. 『Radiology: Artificial Intelligence』でAIによる検出支援やワークフローツールを評価
2. 『Radiology』で画像研究と診断エビデンスを確認
3. 『Radiology: Imaging Cancer』で病期分類と効果判定を参照
4. 『Radiology: Cardiothoracic Imaging』で複雑な胸部所見と臨床管理を検討
5. 『RadioGraphics』のレビューとベストプラクティスで判断を補強

結果：
より確かな判断を、より速く、より自信をもって下せます

詳細については、Ovid®担当者、または**Ovid-japan@wolterskluwer.com**までお問い合わせください。